

# 学び合って分かる授業 蝶屋モデル

学習過程	区切り	指導すること	( ○指導・活動 ●教師 ・児童 )
構え	チャイムスタート	○はじめの挨拶	大きな声で「始めます」教師が見届ける
つかむ 5分	既習の確認	○既習について全員手をあげる 単元計画・既習・学習用語の掲示を指して使う	●前の時間どんな勉強をしましたか？ ・課題は・・・です ・まとめは・・・です ●中心人物とはどんな人のことですか？（用語の確認） ・いちばん心が大きく変わった人です
	課題をつかむ	○既習との違いに気づかせ、考えたくなる思考させる課題をつくる ×～しよう ×～考えよう ○どんな・どうして・どのように・どうしたら ●みんなで課題を言いましょう 〈大造じいさんの心情をぴったり表しているのはどんな情景描写かな〉	●今日はどんな勉強をしますか。 ・～どうして○○になるのかな（理由） ・～するにはどうしたらいいかな（方法） ・～はどうなっているのかな（様子状況） ・～ってどんな○○かな（意味心情） ・～どんなことに～したらいいかな（重点）
	見直しをもつ	○ゴールをイメージさせる	●今日のゴールは…が増やして書けたらオッケーだね
考える 5分	自力解決  <b>根拠</b>  <b>理由</b> (わけ)	○全員に、考え(結論)・根拠・理由を持たせる手立て ●どの文や言葉から分かりますか ●見つけた文や言葉に線を引きましょう ●根拠(言葉・文・絵・図・表・実物)をもとにわけを考えましょう ●その言葉や文の所にわけを書きこみましょう	○自分の考えを、考え(結論)・根拠・理由と順序立てて分かりやすく書かせる ・私は～です ～～と書いてありますね ～～だから～～だと思います
学び合う 20分	交流  <b>反応</b>	○交流するための手立て ○考え(結論)→根拠を指し示しながら→理由(わけ)、を説明させる ○短く問いかけさせながら(カーネーション言葉:ですか・ですね) 話させる ○反応しながら聴かせる ○わからないことは質問させる	・私は～(考え(結論))とと思います ～を見てください「はい！」 ～～(根拠)と書いてありますね→「はい！」 ～～(理由)だから～(考え(結論))とと思います →「なるほど」 ●同じ場所で似ている考えを持った人はいますか ●同じ場所だけど、ちがった考えを持った人はいますか ●こんなふうに思った場所が、他にもありませんか ●別の場所で考えを持った人はいますか
	深めの発問	○思考を深める手立て ●友達の考えでいいなと思った考えはありませんか ●考えがいっぱいあったけどいくつにまとめられますか どうしてそう思ったのですか その共通点は何ですか	・○○さんがいいとと思います ～～と言いましたね ～～だから～～とと思います ・私も○○さんと似ていて・・・ ・私は○○さんとちがって・・・ ・3つにまとめられます ～～だからです 共通点は～ということです
まとめる 15分	課題のまとめ  <b>振り返り</b>	○課題に正対したまとめ 学習用語、児童の考えを用いる ○全員手をあげられるようにして定着させる ○活用  ○振り返り ①自分の変容 ②友達の良さ	●今日の課題は〈 〉でしたね 課題について増えた部分を書きましょう ●増えた部分はどんなことですか？  ●自分の選んだ作品でも考えられますか ・～という情景描写は○の心情をぴったり表しています ・最初自分はこう思っていたけど、授業をしたらこう思った(こうなった) ・○○さんの…の考えでこうわかった
締め	チャイムで終わる	○終わりの挨拶	大きな声で「終わります」教師が見届ける

